

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県における A 群ロタウイルスの流行状況
発表雑誌名	北陸公衆衛生学会誌 第 48 巻 学会特集号 第 49 回 北陸公衆衛生学会講演集
発表者名	小和田和誠（保健衛生部）
発表日	令和 3 年 1 1 月
発表内容	<p>近年に福井県内の感染性胃腸炎患者から検出した A 群ロタウイルス（RVA）について、ウイルスの抗原性を把握する上で重要となる外殻タンパク質を構成する VP7 の遺伝子型（G 型）を検査し、福井県における流行状況を調査した。</p> <p>2012 年 4 月から 2021 年 3 月までの間に、感染性胃腸炎患者から福井県内の医療機関で採取された糞便検体の中で、これまでに RVA を検出した 94 検体を対象とした。</p> <p>2017 年以前の検出ウイルスの多くはワクチンに含まれる遺伝子型（G1、G2、G3）であったが、2018 年以降はワクチンに含まれない遺伝子型（G8、G9）が多かった。ワクチン接種の開始が遺伝子型の勢力関係に影響を与えていると考えられる。</p>